

NPOにとって 社協にとって 各フェーズごとの協働・連携・役割

複合災害の現場での事例として



特定非営利活動法人ザ・ピープル 吉田恵美子

東日本大震災直後の小名浜地区災害ボランティアセンター運営

における社協と団体の協働・連携・役割

公的な支援拠点として被災者からの「HELP！」の声を拾い上げやすい
災害ボラセンとしての運営ノウハウについて支援Pから提供を受けられる
被災エリアに最も近いところでボランティアを受け入れることができる



ショッピングモールでのサロン活動における 社協と団体の協働・連携・役割

各避難元町村の社協を介してサロン情報が被災者に伝えられる

被災者・避難者・地域住民の区別なしで集える場を設けられる



復興公営住宅 下神白団地における

社協と団体の協働・連携・役割

独りよがりではない地域課題へのアプローチを考える機会を得られる

県営と市営公営住宅双方の入居者の交流の場を設けられる



農業支援における社協と団体の協働・連携・役割

社協を介して参加者を募ることができる

コミュニティの輪に入りにくい高齢の男性が生き生きと活動できている



フード&クロージングバンク事業での 社協と団体の協働・連携・役割

福祉の専門家ではない組織の弱点を補うことができる

生活困窮者が現れたその日のうちに対応を受けられる



新たな災害対応時における協働・連携・役割分担

東日本大震災の時の経験から情報共有の場の必要性を確認

災害時の情報共有のための場を平時にも引き継ぐ主体となり得る





次へのバトン…

多様化する地域課題に向き合いつつ、次の災害に備えるために、セクターを超えた顔の見える関係づくり、情報共有のための会議体を平時から持つことが必要不可欠である。